



日の山



<https://www.ube-ygc.ed.jp/hke/>

2月3日発行

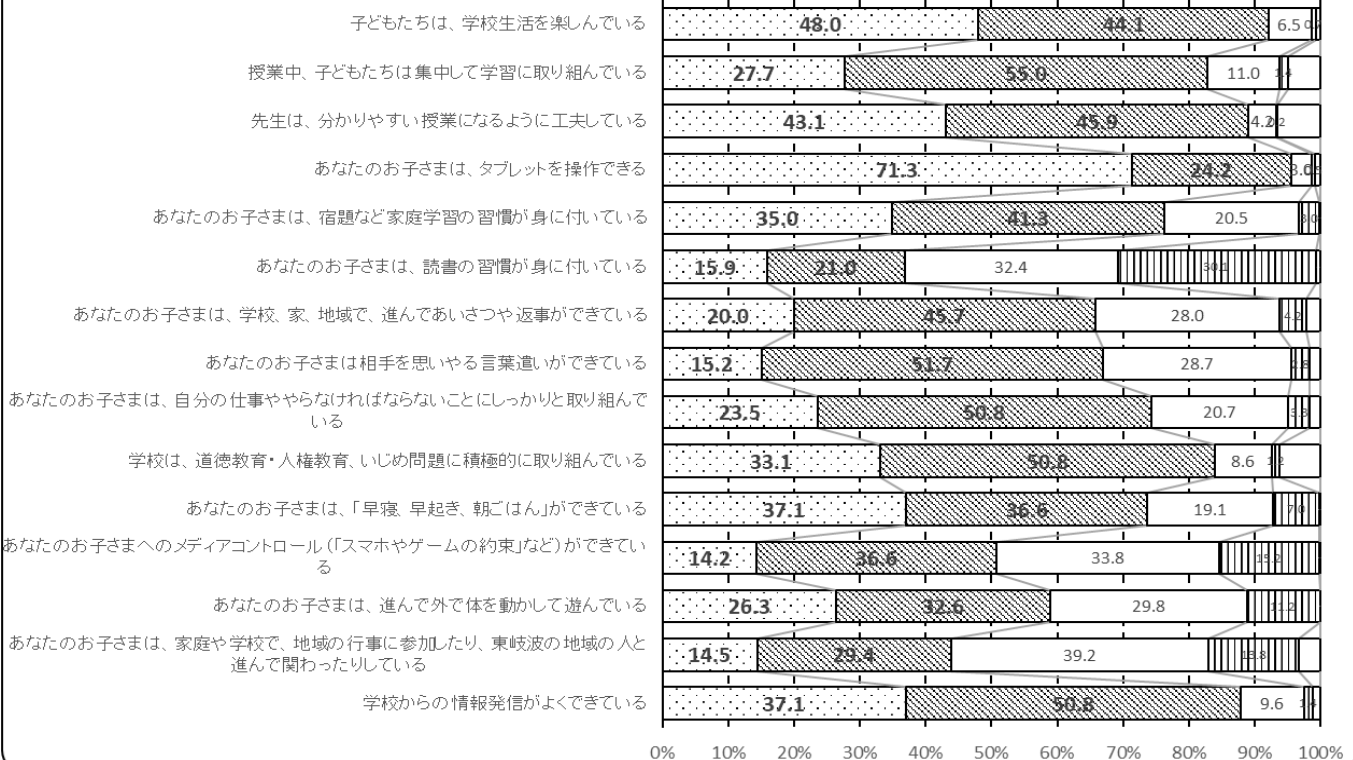
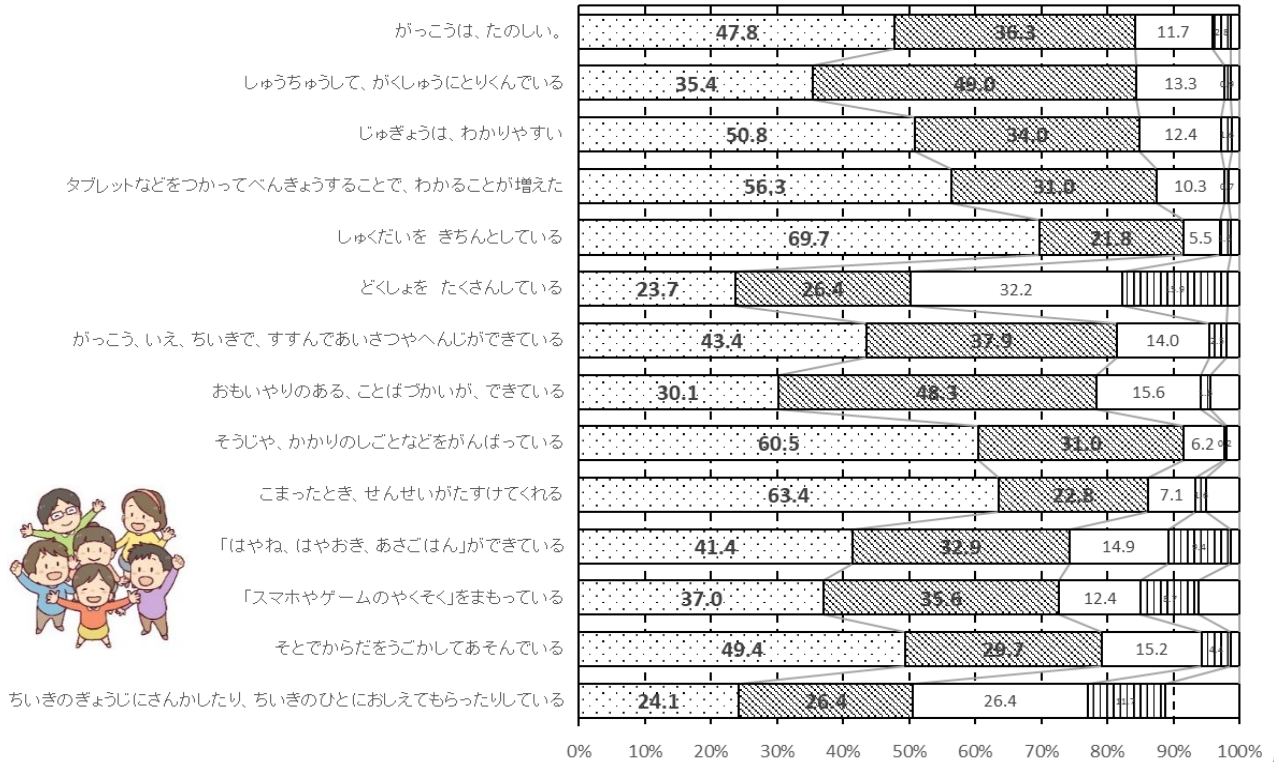
学校教育目標：ふるさと東岐波を愛し、夢の実現に向けて意欲的に学ぶ子どもの育成

東岐波小HP

第2回学校評価アンケートの結果

数値はパーセンテージを表しています。

□当てはまる □だいたい当てはまる □少し当てはまる □当てはまらない □わからない



＝ 保護者の皆様からの貴重なご意見の一部をご紹介します ＝

■体操服の下に長袖を着用させてほしいです。

→発汗時、すぐに着替えられず、体温調節が難しいので着用しないことになっています。詳細は先日配付した「寒い時の服装について」をご覧ください。

■いじめアンケートの項目に、教員からいじめ、嫌がらせがなかったか、を質問に追加してください。不登校の原因に大きく関わってくる重要な項目です。

→いじめアンケートは市教育委員会の主催であり、今回のご意見をお伝えします。

■この意見記入フォームも一行しか表示されず、文書を書きにくく、確認しにくく、使いにくいです。子どもや保護者からしっかりと意見を聞く体制が必要だと思います。

→ご意見記入フォームを改善できるか検討します。また、参観日等のご意見箱もご活用ください。2階玄関には常時ご意見箱を設置しておりますので、ご活用ください。

■以前役員をした際、駐車許可証に氏名が記載されていた。個人の特定になるため、役員名にする、あらかじめ車のナンバーを登録する、などで代用できないでしょうか。

→役員名等で配付しようと考えています。

■下校時や悪天候の時など学校への乗り入れを許可して欲しい。

→非常時は検討します。本校は出入り口がヶ所のため、児童の登下校の安全確保が難しく、常時許可はできない状況です。

■学校内で流行っている感染症はなるべく早めに教えて頂きたいです。（中略）ウイルス、細菌で家庭内でも感染対応が異なってきますし、受診時には何か流行りの感染症はありますかと聞かれます。お忙しいとは思いますがクラスは違えどなるべく早い情報が頂けたらなと感じました。

→学級閉鎖等、流行時のお知らせをシグフィーでさせていただきます。

アンケート結果の考察

「自らかかわる力」の育成 ～ 自ら課題を発見し解決する ～

- おおむね肯定的な回答「当てはまる」・「だいたい当てはまる」が多かった。「タブレット操作ができる」については、児童も保護者も増加し、保護者は71%と1学期と比較して11%増加している。昨年同時期と比べても4.5%増加している。タブレットの持ち帰りについても引き続き進めていきたい。
- これまでと同様に『読書習慣』は最も大きな課題として挙げられる。1学期と比べて児童も保護者も肯定的な回答が減少している。読書の時間を意識して確保すること、読書の楽しさを味わえる機会を工夫することが大切である。3学期に低学年対象の「お話の部屋」を企画予定。

「社会とかかわる力」の育成 ～ 心身ともに健康で夢や目標に向かって努力する ～

- 『言葉遣い』については、児童・保護者ともに微増だが、児童の「当てはまる」・「だいたい当てはまる」の回答が増えている。「ふわふわ言葉」の取組を継続していくとともに、日々の言葉遣いについて、児童だけでなく、教職員の意識を高め、教室で使っている「言葉」の重み、大切さについて改善していく必要がある。

「自分を生かす力」の育成 ～ 礼儀をわきまえ多様な人権を認め合える ～

- 『スマホやゲームの約束』は、児童の肯定的意見が72.6%、保護者が50.8%で、児童と保護者の評価の差が大きかった。児童は守っていると感じているが、保護者から見ると守れていない現状が伺われ、依然として深刻な課題となっている。学校と家庭の連携がいっそう望まれる。

保護者・地域との連携に関すること

- 『地域との関わり』については、1学期と比較すると児童も保護者も肯定的な回答が増加している。引き続き、地域での行事について学校からも情報発信をしていきたい。昨年同時期と比べ、児童は1.5%、保護者は2.7%増加している。

「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。このアンケートは「小中一貫教育グランドデザイン」と関連を図った設問にしています。今後も皆様から頂いた結果を参考に東岐波小学校・中学校が連携して、子ども達が健やかに成長していけるよう協働で取り組んでいきます。